

加古川市議会報告

2021年 秋季号

発行●市議会議員 岸本たてき・市議会議員 立花しゅんじ 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9303

市議会議員

岸本たてき

- 総務教育常任委員
- 加古川市都市計画審議会委員



市議会議員

立花しゅんじ

- 建設経済常任委員
- 加古川市青少年問題協議会委員



第5回
加古川市議会定例会
が開かれました

令和3年度補正予算、令和2年度決算、条例等単行案件が審議され、卸売市場の廃止条例に対し岸本、立花、そろって市場存続求め反対をいたしました。コロナ経済対策として補正予算の撤回や見土呂フルーツパークに係る2議案が撤回される等、過去にない議会となりました。

市内すべての
中学校で

あったかくておいしい 給食がスタート!

待望の中学校給食完備

昨年の日岡山学校給食センターに続き、今年には神野台学校給食センターが始動となり、長年の願いでありました中学校給食が9月3日より市内の全中学校で配食されることになりました。中学校の給食実施では全国比でも遅くなりましたが、完備できました。

今回給食が始まった学校は、加古川中学校、中部中学校、浜の宮中学校、別府中学校

です。

また、志方給食センターから変更となった両荘中学校、志方中学校の2校を合わせ6校です。

これで、市内12中学校すべて同じメニューの給食となりました。

憲法第26条に「義務教育は無償とする」となっており、給食費無料を求めました。



完成した神野台学校給食センター

問題だらけのペイペイ還元
キャンペーン



見土呂フルーツパーク 再整備事業計画が白紙に

9月7日、建設経済常任委員会で見土呂フルーツパークの指定管理者を(株)ローカルディベロップメントラボに決める議案が賛成多数で決定されました。ところが、9月13日、総務教育常任委員会に付託されていた再整備工事請負契約に係る議案について、理事者側から、建設事業者の参加要件を満たしていないことが明らかになったとして、両議案の事件撤回請求が市長から議長に提出され、9月28日本会議で了承されました。行革・民間委託・プロポーザル契約方式の問題点が一気に顕在化しました。



計画白紙の見土呂フルーツパーク

コロナ対策は 全市民・全事業者へ向けた支援策を

加古川市はコロナ対策の一環として、緊急経済対策市内店舗応援事業でペイペイ登録業者の売り上げアップと市民に5,000円を上限とした20%のポイント還元のために4億5000万円の補正予算(案)を計上していましたが、ペイペイ側のミスで全額削除の予算差し替えが行われました。真相はまだ明らかにされていませんが、全市民を対象にした直接支援でなく安易な民間委託という制度設計に問題ありです。



20%還元を知らせる食堂

公共施設の あり方について考える



「旧加古川公会堂」の存続を求める市民の声が広がっています。市は耐震強度の調査を行う補正予算を上程しました。

「元加古川図書館」(旧加古川公会堂) 耐震調査予算付く

市は、調査の結果で存続の可否を決定するものではないとしています。加古川の文化遺産として旧加古川公会堂の保存と活用が求められます。



決算に 対する 態度



令和2年度決算に反対

- ▶一般会計、実質収支約1億9千4百万円の黒字となりました。市の事業のあらゆる部分に業務委託が行われ、指定管理委託事業も多岐にわたり、多額の費用が支払われています。
- ▶2,400人の正規職員を1,722人にまで削減し、その代わりに非正規職員を819人採用したことで、職員が以前より約140人増えていますが、職員の3分の1以上が非正規の短期雇用職員です。短期雇用職員のスキルアップは難しく、市民サービスの後退と労働者の低賃金化が問題です。

- ▶新型コロナウイルス抑え込みのPCR検査を希望者が受けられるよう求めてきましたが出来ていません。
- ▶市内で循環する経済対策を求めてきましたが、特定の企業に依存した施策が問題です。
- ▶災害時のために貯めた市の基金は212億円あります。コロナ禍の今こそ活用が必要です。
- ▶新自由主義の下で、職員削減と委託事業丸投げ方式による政策から市民の願いに応える市政への転換を求めました。